

NEW OKUNO HOSOMICHI-YAMAGATA

# 新・奥の細道

一周ルート

④

庄内平野と湖沼を訪ねるみち

Syonai-heiya-to-kosyo-o-tazuneru-michi



山形県

## 周辺のアクセスガイド

酒田市北境までは  
・JR酒田駅からバスで20分。  
平田町金谷までは  
・JR酒田駅からバスで20分。  
・JR酒田駅からバスで20分。  
・バスに乗り換え10分。



観光・宿泊のお問合せ	酒田市観光協会 〒998 酒田市中町2-5-10 ☎0234-24-2233
	平田町観光協会 〒999-67 平田町大字飛鳥宇架約場30 ☎0234-52-3111
交通のお問合せ	JR酒田駅 〒998 酒田市幸町1-1-1 ☎0234-22-4102
	庄内バスターミナル酒田出張所 〒998 酒田市幸町2-11-1 ☎0234-24-9292
コースのお問合せ	酒田市観光物産課 〒998 酒田市中町2-2-45 ☎0234-26-5759
	平田町企画課 〒999-67 平田町大字飛鳥宇架約場30 ☎0234-52-3111
	山形県環境保護課 〒990 山形市松波2-8-1 ☎0236-30-2207

表紙の写真は大森山から見た庄内平野

NEW OKUNO HOSOMICHI・YAMAGATA

# GUIDE

みどころ案内

## 延命寺

Enmei-ji

平安初期の貞観年間(859~877)は天台宗でしたが、現在は真言宗の寺です。火災での焼失後、1924年に再建、本尊に不動明王を祀り、寺宝として木造聖観音立像(写真展示)を安置しています。この立像は平安後期、藤原時代中期以前の作と言われており、国宝級の木彫仏として有名です。また、延命寺境内には姥石、般若石、鉄石、仁王石、妙拳石、曼荼羅石があり、山門まで続く坂道の両側にも奇岩が続きます。



延命寺「山門」

## 大ケヤキ

O-keyaki

墓地公園より泉谷地池に通じる山道の一隅に、天空にそびえ立つ大ケヤキがあります。この木の下から響き清水と言う泉が湧き出ており、昔から山菜採りや畑仕事の休憩所として、また馬に水を飲ませる場所として親しまれてきました(この大ケヤキは、樹齢350年、太さ6.64m、高さ20m、枝幅26m)。現在、酒田市の樹として最大の巨木であり、市保存木に指定されています。



大ケヤキ

酒田市の東端、出羽三山の西麓東平田一帯と平田町東部地区には、縄文時代から中世にかけての貴重な遺跡群と史跡朝日山城や鷹尾山を中心とする信仰、板碑、遺跡等々、ふるさとの心を素朴な語り口で伝える悠久の歴史と文化があります。緑樹のトンネルを抜けると周囲を林に囲まれた池が見えてきます。この池は農業用ため池で、下流の田んぼをうるおしています。ここには平田町海洋センターがあり、ボートやカヌーなどの水上スポーツを楽しむことができます。

## 泉谷地池・新溜・ノラクロ池 Izumiyachiike・Shintame・Norakuro-ike

自然豊かな山間に農業用ため池が点在し、自然散策や森林浴を楽しむことができます。秋の稲刈りが終わったころには泉谷地池の水は放流され、水が少なくなった湖のほとりでは川えびなどをつかまえることができます。

また、新溜には、平田町海洋センター艇庫があり、ヨット、カヌー、ウィンドサーフィンなどの水上スポーツを手軽に楽しむことができます。指導員が親切に教えてくれるので、初心者にも大変人気があります。



泉谷地池

ノラクロ池



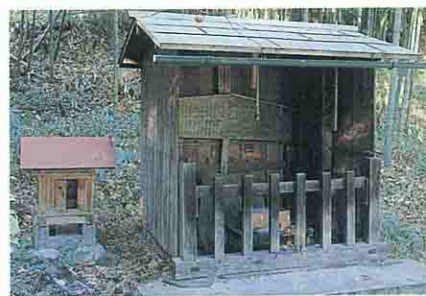
◎平田町海洋センター艇庫  
◆利用期間/5月~10月  
◆利用時間/平日  
午後1時~午後4時  
休日・祝祭日 午前9時~午後4時  
◆利用内容/ヨット、カヌー、ウィンドサーフィンなどの貸出、指導。  
◆休館日/毎週火曜日と祝祭日の翌日  
◆お問い合わせ/平田町海洋センター ☎0234-52-3284

## 元弘二年阿弥陀板碑

Genko-ninen-amida-itahi

1332年に建立され、高さ76cm、横中程が79cmで、表面に梵字で種字阿弥陀如来が彫られています。安山岩の自然石を用いた板碑としては3番目に古く、貴重な考古学資料として、県の指定を受けています。種字阿弥陀如来の下部には、「一念阿弥陀仏滅無量罪現比來後世浄土」とあり、阿弥陀仏を心に念ずれば過去の罪を滅ぼし、現世においても楽しみを受け、死後も浄土に行けると書かれています。

※安山岩——火山岩の一つ。



元弘二年阿弥陀板碑

# YAMAGATA MAP

東北自然歩道(新・奥の細道)ルート図



## “新・奥の細道”とは

自分の足でゆっくり歩きながら、森や川、野鳥や虫など豊かな自然にふれあい、また、その地域の特色ある文化や歴史と親しむためのみちです。

“新・奥の細道”は正式には東北自然歩道といいます。この自然歩道は、一日で歩ける程度の遊歩道を1つのコースとして、コースの間をバスなどでつなぎながら東北を一周する長距離自然歩道です。そして、この道は福島県白河を起点とし、宮城、岩手、青森、秋田、山形の順で経由して福島県郡山に至るルートになっています。

また、この“新・奥の細道”は東北を一周するルートの他に、景観の優れた地域や名勝地等に向かうルートがあります。県内でも、月山ルート・鼠ヶ関ルートなど4つのルートがあり、山形県内のルートをあわせた総延長は45コースで469kmとなっています。

この“新・奥の細道”を楽しむために

1. コースのみどころ、地形、距離をあらかじめ調べて、余裕のある日程を組みましょう。
2. 歩きやすい服装で、荷物は最小限にとどめましょう。
3. 天気予報に注意して、天気のいい日を選んでゆっくり歩きましょう。この3つを守り、友人と、家族と、さあ出発!

## おねがい

- ・ゴミは捨てないで持ち帰りましょう。
- ・たばこの投げ捨てや、山火事には十分注意しましょう。
- ・案内板や休憩所はみんなのもので、大切にしましょう。
- ・美しい自然は、人間だけのものではありません。草花や虫たち、小鳥たちのためにも自然を汚さないようにしましょう。
- そして、美しい自然を後世まで伝えていきましょう。

このみちは、年金積立金元還元融資を受けてつくられました。